



創誠健和



旭川中学校 学校通信 5月号

あさひやまに春が来た!

令和4年 4月28日発行

あさひやまに新しい命が芽吹き、清々しいエネルギーにあふれる季節を迎えました。間もなく桜も開花でしょうか。4月7日に始業式・入学式を無事に終了し、スタートした令和4年度。新入生、そして転入生も迎え、明るい雰囲気です学校が動き出しました。

一方で、旭川市では新型コロナウイルス感染症の感染状況が高止まりとなっており、他校においては学級閉鎖や行事の自粛、また、ご家族に体調不良者やPCR検査受検者がいるなど、登校に不安を持たれる場合もあるかと思えます。

本校と致しましては、感染の拡大を防止する観点から、対策の緩和は段階的に行う必要があることに鑑み、当面は、これまでと同様に接触機会の低減を徹底する等、引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策に万全を期することとしますが、生徒にとって大切な教育活動の一つである部活動等については、各競技団体のガイドラインや衛生管理マニュアル等を踏まえながら、活動を認めて参りたいと考えております。

不安事や、不明な点など何かありましたら、これまで同様、学校までお気軽にお問い合わせいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



見方を変えて！未来へチャレンジ

「あさひやまプライドプロジェクト」始動

世界的に有名な靴のメーカーであるA社とB社。両社はライバル同士です。ある時、両社が同時にアフリカへの進出を考えはじめました。

アフリカに派遣されたA社の担当者は、現地調査後に次のような報告しました。

「ここはだめです。みんな裸足です。靴なんてはいている人は誰もいません。話しにならないので、すぐに戻ります」と、一方、B社の担当者は次のように報告しました。

「大変です!誰も靴をはいていません。いくらでも売れるでしょう。今すぐ本社にある在庫を全部送って下さい」と。二人の担当者は、同じ現象を見ているのにもかかわらず、受け取り方はまったく逆。

ビジネスとしては、どちらが成功したのかはわかりませんが、どちらがより楽しく、笑顔で人生を送れる考え方なのかについては、一目瞭然のような気がしました。皆さんはいかがでしょう。

ものの見方を変えるだけで、ハッピーにもなれるし、不幸にもなれるのです。

ぜひ、物事を色々な角度から見て、その可能性を伸ばす習慣を身に付けてほしいと考えています。

旭中では、今年度よりチーム担任制をスタートさせています。生徒をサポートしてくれる熱心な先生方が大勢います。

そして、今年度は、新たに「あさひやまプライドプロジェクト」を始動しています。「絵」であさひやまの歴史を伝える美術部の「まちなかギャラリー」に続き、保健体育科では、体力・運動能力テストのサポート役に地域に発足したボランティア団体にサポートしていただきます。地域の方々や生徒が接するということは、教職員とは異なる、生徒への評価をいただくことが出来る、素敵なチャンスです。

生徒のプライドが輝く実践を、徐々にではありますが、進めて参ります。



生徒の皆さん、困ったことや問題があったら、保護者はもとより、いつでも教職員、そして、地域の方々に相談して、違う角度からの見方や考え方を学んでほしいと思っています。

私たち旭中に関わる全ての大人たちは、生徒一人一人の健やかな成長のため、一致団結して力を尽くします。保護者、そして地域の皆様には、引き続き、生徒の成長を影になり、日向になり、見守っていただけますようお願いいたします。

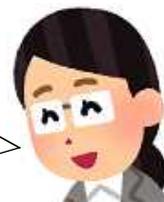
「チーム担任制」導入 第2弾!

4月号でもお知らせしたとおり、旭川中学校では、今年度よりこれまでの「固定担任制」から「チーム担任制」に変更しました。全国的に導入が進みつつある「チーム担任制」ですが、旭中スタイルをご紹介します。



センセイ 教えて①
「チーム担任制」ってどういうこと?

「チーム担任制」は先生がチームを組んで、生徒にとって最適な対応ができるようにする仕組みです。教師が各学年でチームとなり、一日ごとに担任するクラスを変えています。朝帰の学活や給食・清掃指導等を交代しながら担当しています。



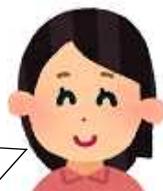
センセイ 教えて②
どうして「チーム担任制」に変えたの?

旭川中学校では、「自ら学ぶ」「心豊かな」「実行力ある」そんな人を育む共育に取り組んでいます。この実現と生徒一人ひとりの長所や個性を最大限に活かすため、旭川中学校がこれまで積み上げてきた教育活動を土台に、学校の仕組みや運営方法の改善が必要と考えました。主役となる生徒、そして保護者の皆様、さらには教職員が、今まで以上に魅力と誇りを感じられる、そんな学校になるための大切な仕組みと考え、できるところからの導入としました。



センセイ 教えて③
これまでの「固定担任制」じゃダメなの?

昨今、全国的にいじめや不登校生徒の増加など、様々な課題も指摘されているところです。そこで、担任教師が複数になる「チーム担任制」なら、生徒自らの意志で相談したい教師を選ぶことができたり、悩みなどを打ち明ける機会が増えたり、課題の早期解決につなげたいと考えています。旭中では、これまでも担任以外の様々な教職員で対応してきていますが、さらに気軽に生徒の意志で相談相手などを選択する機会を増やしました。様々な教師の価値観にふれることで視野を広げ、刻々と変化する社会を逞しく生き抜く力を育みたいと考えています。



センセイ 教えて④
「チーム担任制」はどんな良いことがあるの?

生徒がたくさん教職員と関わることで、人間関係を築き上げる経験を積み重ねることが出来ます。保護者の皆さんは、相談の内容等によって相談相手を選ぶことができます。チームでの対応なので話したいタイミングを逃すこともなくなります。各自の得意分野を活かし合い、ベテランと若手、ミドルリーダーが一つのチームになることで教師自らも成長し、教育の質の向上、ひいてはよりよい教育環境の提供につながると考えております。



《こんな生徒会活動で、こんな学校に!》

令和4年度前期生徒会では、活動目標を「進取果敢」積極的に挑戦し、大胆に進む生徒会としました。これまで諸先輩が築き上げた伝統を受け継ぎ、新たなことに大胆に挑戦していこうという意味を込めました。先生や誰かに言われてやるのではなく、自分達で考え、企画し、行動する生徒会を作りたいと思います。生徒一人一人の考えを受け入れて生徒に寄り添い、保護者や地域の方々とも協働した活動をしていきます。コロナ禍で、多くの制限もありますが、その中で生徒会にできることを精一杯考え、新しい旭中を、伝統を作っていきます。これまで同様、旭中生徒会へのご協力よろしくお願ひします。 《旭中生徒会長》